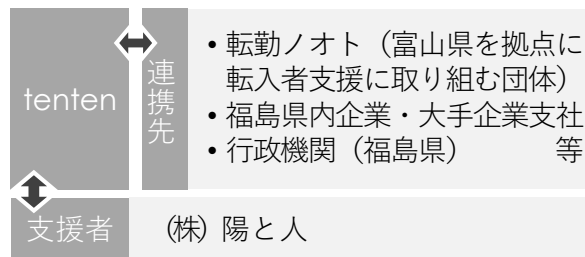


移住・転入女性が仲間や地域とつながるサポート体制作りと女性の小さななりわい作りプロジェクト

取組背景・地域課題

- 結婚やパートナーの転勤を機に**福島県に転入した女性**の中には、外部との繋がりを作れず暮らしに不安を感じたり、望む仕事に就けず悩む人も多い。**転入女性の暮らしをサポート**するとともに、**多様な働き方の選択肢を作る**必要がある。
- 福島への転入女性が2018年に立ち上げたtentenは、**転入女性の仲間づくり**や**WEBメディア運営**、地元素材を活かした**商品開発・女性のなりわいづくり**等に従事。さらなる活動発展を目指していた。

取組体制



取組の目的と内容

転入女性が安心して福島で暮らすためのサポートや女性の小さななりわい作りの仕組みを構築し、女性の多様な働き方の実現、移住・転入者数の増加、人材不足解消へつなげることを目指す

1 移住・転入女性のサポート

- **サポート活動**：仲間づくり・情報交換を目的としたtenten cafeの定期開催、Webメディアでの情報発信のほか、地域と転入女性をつなげる「まちとつながる旅」を実施。
- **活動基盤強化**：団体としての活動の優先順位・仕組みを整理し団体概要を作成。さらに企業との連携体制づくりや財源確保に取り組み、活動基盤強化を図る。

2 女性の小さななりわい作り

- なりわい作りの売上向上・安定化に向けて、既存商品のリブランディング、販路開拓、PR等実施。また、団体内でのオペレーション改善を行う。
- 「移住・転入女性のサポート」、「女性の小さななりわい作り」ともに相乗効果がある形で、事務所建物内にある空き店舗の利活用策を検討する。

取組のポイント



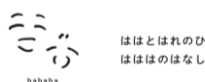
まちとつながる旅

『まちとつながる旅』の実施と連携企業の獲得へ！

- tenten cafeでは当初の計画通り、会津地域や浪江町など、活動範囲を県内で更にを広げて継続的に実施することができた。また、11月には福島市で「まちとつながる旅」を開催した。
- 団体概要の作成を通して事業の全体像を整理できただけでなく、代表藤本氏の活動への想いも確認することができた。またメンバーへのスキル調査では、これまで知らなかったメンバーの貴重なスキルや経験を明らかにできた。

リブランディングの進展・新店舗“Ent”オープンへ！

- 既存商品のbel*fonteブランドを整理し、リブランディングを進めていった。その中でデザイナー北山氏の協力の基、新ブランドのブランド名やロゴ、ターゲットのペルソナなどを検討し、ブランドコンセプトを具体的にしていた。
- 建築家伊藤氏を招聘し、空き店舗利活用に向けて店舗のコンセプトや図面について具体化していった。



hahaha
ブランドロゴ

取組の主な成果

- 積水ハウスや子育て支援団体cotohanaとtentenカフェを開催したことで、**地域とのつながりを深める**ことができた。また、「まちとつながる旅」ではメディアにも取り上げてもらい、認知度が上がった。
- 藤本氏の法人化への決意が固まり、**10月に一般社団法人化**できた。その上で県内の企業へ営業することができ、**積水ハウスから協賛金をいただけることとなった**。
- 「ママ向け」というブランドの方向性が決まり、**商品改良や営業など、リブランディングを進めることができた**。
- お店のコンセプトや図面が決まり、スタッフへVMD研修を行うなど、オープンに向けた準備を進めることができた。



空き店舗外観改修イメージ

支援対象団体担当者からの声

初めてハンズオン支援事業に採択され、1年間伴走していただきました。1年後の目標を基に課題を整理していただき、目標に向かって歩むべき道を示してもらえたこと、考え方を教示してもらえたこと、定期的なチェックと宿題を出していただけたこと、適切な専門家をご紹介いただけたことで着実に前進することができました。何より、悩んだ時や困ったときに相談できる方がいるということができたばかりの団体としてはとても心強かったです。